

調査報告

大学におけるキャリア教育の効果測定(2)

——07年度「キャリア開発」および08年度「キャリア開発」の
アンケート調査結果をつうじて——

三輪憲次*

要旨

2007年度開講の「キャリア開発」(2年後期配当)および2008年度開講の「キャリア開発」(3年前期配当)について、それぞれ講義開始時と講義終了時に同一項目で実施した受講生へのアンケート調査をつうじて、この科目の教育効果の測定を試み、以下の結果をえた。

- (1) 「キャリア開発」という講義が「1職種・適性」や「2業種・業界」を考え始めさせる効果は、かなり大きい事が実証された。
- (2) 「履歴書」の作成、「エントリーシート」の作成、「グループ・ディスカッション」についての教育効果はかなり大きい。
- (3) これらに比べ、「集団面接」「個別面接」の効果は数値的には小さい。ただし、これは実際の効果が小さいことを意味している訳ではない。
- (4) 「筆記試験」はこの講義内での比重は大きくしていないこともあり、この講義の直接的効果としては測ることはできなかった。

キーワード：キャリア教育，教育の効果測定，就職進路選択，履歴書作成，
エントリーシート作成，採用面接，自己アピール，筆記試験

はじめに

本稿は、2007年度本学経済学部で開講された「キャリア開発」での開講前と講義終了後の2回にわたって実施した受講生へのアンケートと、次年度の2008年度に同学部で開講された「キャリア開発」において同様に2回にわたって実施したアンケートを使って、これら科目の教育効果の測定を試みたものである。筆者は本論集第37号(2008年8月)において07年度「キャリア開発」のアンケート結果を用いた教育効果測定の試みを発表した。今回はそれに引き続き開講された「キャリア開発」の講義を受講した学生(「」受講世代が学年進行に伴い「」受講)のアンケート結果を併せて検討する。アンケートは4回とも基本的に同一のアンケート内容

* 日本福祉大学経済学部教授

表1 回答者総数 (男女比)

		男	女	総計
キャリア 開発	講義前	82.3%	17.7%	62 (人)
	終了時	77.0%	23.0%	61 (人)
キャリア 開発	講義前	82.2%	17.8%	73 (人)
	終了時	83.3%	16.7%	54 (人)

で行っている。従って、これにより2年後期2単位の「 」と3年前期2単位の「 」の連続した効果を測定することができることになる (なおサンプル数および男女構成比は、表1を参照)。

1 進路・就職についての考え

本節では、職種および業界業種について、どの程度考えているかを、「キャリア開発 」および「キャリア開発 」の講義の各段階において調査した結果を見てみよう (表2参照)。

1.1 「1 職種 (適性)」の全体について

「1 しっかり考えている」と「2 ある程度考えている」の合計を「考えている」とする。また「3 余り考えていない」と「4 全く考えていない」の合計を「考えていない」と分類する。「 」講義前 講義後 「 」講義前 講義後について「考えている」割合は、40.3% 65.8% 69.9% 77.8%と増加している。

1.2 「1 職種 (特性)」と「 」履修状況の相関

「 」単位既取得者の「 」講義前 講義後の「考えている」割合は、77.4% 89.7%に増加した。これに対して、「 」単位未取得者は50.0% 46.7%と減少している。ただし、「 」単位未取得者でも「しっかり考えている」割合は5.0% 6.7%に増えており、この層に対する効果はあったといえよう。

1.3 「2 業界・業種」の全体について

「考えている」者の割合は4回の調査で43.5% 67.2% 60.3% 72.2%と変化した。67.2% (「 」終了時) 60.3% (「 」開始時) の変化は「 」講義開始時点で「 」単位未取得者が「 」単位取得者に加わった影響であると考えられる。

1.4 「2 業界・業種」と「 」履修状況の相関

「2 業界・業種」について「 」単位既取得者の「 」講義前 講義後の「考えている」割合は、64.2% 82.17%に増加。これに対して、「 」単位未取得者は50.0% 46.7%と減少している。ただし、「 」単位未取得者でも「しっかり考えている」割合は5.0% 13.3%に増えている。

表2 集計結果 (総括表)

1,2 選択肢	1 しっかり考えている	2 ある程度考えている
	3 あまり考えていない	4 全く考えていない
3~8 選択肢	1 かなり自信がある	2 少しは自信がある
	3 少し自信がない	4 ほとんど自信がない

		1	2	3	4	1+2	回答者数	
1職種 (適性)	キャリア開発	講義前	3.2%	37.1%	56.5%	3.2%	40.3%	62
		終了時	11.5%	54.1%	31.1%	3.3%	65.6%	61
	講義前	履修	5.7%	71.7%	22.6%	0.0%	77.4%	53
		未履修	5.0%	45.0%	35.0%	15.0%	50.0%	20
		総計	5.5%	64.4%	26.0%	4.1%	69.9%	73
	終了時	履修	12.8%	76.9%	10.3%	0.0%	89.7%	39
		未履修	6.7%	40.0%	46.7%	6.7%	46.7%	15
		総計	11.1%	66.7%	20.4%	1.9%	77.8%	54
2業界・業種	キャリア開発	講義前	3.2%	40.3%	54.8%	1.6%	43.5%	62
		終了時	8.2%	59.0%	31.1%	1.6%	67.2%	61
	講義前	履修	3.8%	60.4%	35.8%	0.0%	64.2%	53
		未履修	5.0%	45.0%	40.0%	10.0%	50.0%	20
		総計	4.1%	56.2%	37.0%	2.7%	60.3%	73
	終了時	履修	7.7%	74.4%	17.9%	0.0%	82.1%	39
		未履修	13.3%	33.3%	33.3%	20.0%	46.7%	15
		総計	9.3%	63.0%	22.2%	5.6%	72.2%	54
3履歴書作成	キャリア開発	講義前	1.6%	9.7%	43.5%	45.2%	11.3%	62
		終了時	6.6%	16.4%	54.1%	23.0%	23.0%	61
	講義前	履修	3.8%	15.1%	52.8%	28.3%	18.9%	53
		未履修	0.0%	5.0%	55.0%	40.0%	5.0%	20
		総計	2.7%	12.3%	53.4%	31.5%	15.1%	73
	終了時	履修	2.6%	25.6%	56.4%	15.4%	28.2%	39
		未履修	0.0%	20.0%	46.7%	33.3%	20.0%	15
		総計	1.9%	24.1%	53.7%	20.4%	25.9%	54
4エントリーシート作成	キャリア開発	講義前	1.6%	9.7%	43.5%	45.2%	11.3%	62
		終了時	1.6%	18.0%	62.3%	18.0%	19.7%	61
	講義前	履修	3.8%	13.2%	50.9%	32.1%	17.0%	53
		未履修	0.0%	5.0%	20.0%	75.0%	5.0%	20
		総計	2.7%	11.0%	42.5%	43.8%	13.7%	73
	終了時	履修	2.6%	25.6%	59.0%	12.8%	28.2%	39
		未履修	0.0%	26.7%	33.3%	40.0%	26.7%	15
		総計	1.9%	25.9%	51.9%	20.4%	27.8%	54
5筆記試験 (SPI)	キャリア開発	講義前	0.0%	12.9%	37.1%	50.0%	12.9%	62
		終了時	3.3%	16.4%	55.7%	24.6%	19.7%	61
	講義前	履修	3.8%	22.6%	43.4%	30.2%	26.4%	53
		未履修	5.0%	15.0%	30.0%	50.0%	20.0%	20
		総計	4.1%	20.5%	39.7%	35.6%	24.7%	73
	終了時	履修	0.0%	28.2%	38.5%	33.3%	28.2%	39
		未履修	0.0%	33.3%	40.0%	26.7%	33.3%	15
		総計	0.0%	29.6%	38.9%	31.5%	29.6%	54
6グループディスカッション	キャリア開発	講義前	3.2%	12.9%	53.2%	30.6%	16.1%	62
		終了時	1.6%	36.1%	44.3%	18.0%	37.7%	61
	講義前	履修	3.8%	26.4%	47.2%	22.6%	30.2%	53
		未履修	0.0%	15.0%	40.0%	45.0%	15.0%	20
		総計	2.7%	23.3%	45.2%	28.8%	26.0%	73
	終了時	履修	5.1%	41.0%	38.5%	15.4%	46.2%	39
		未履修	6.7%	26.7%	40.0%	26.7%	33.3%	15
		総計	5.6%	37.0%	38.9%	18.5%	42.6%	54
7集団面接	キャリア開発	講義前	4.8%	9.7%	53.2%	30.6%	14.5%	62
		終了時	3.3%	23.0%	49.2%	24.6%	26.2%	61
	講義前	履修	3.8%	26.4%	43.4%	26.4%	30.2%	53
		未履修	0.0%	20.0%	30.0%	50.0%	20.0%	20
		総計	2.7%	24.7%	39.7%	32.9%	27.4%	73
	終了時	履修	2.6%	20.5%	59.0%	17.9%	23.1%	39
		未履修	6.7%	13.3%	40.0%	40.0%	20.0%	15
		総計	3.7%	18.5%	53.7%	24.1%	22.2%	54
8個別面接	キャリア開発	講義前	4.8%	14.5%	56.5%	24.2%	19.4%	62
		終了時	4.9%	31.1%	37.7%	26.2%	36.1%	61
	講義前	履修	3.8%	30.2%	35.8%	30.2%	34.0%	53
		未履修	10.0%	10.0%	30.0%	50.0%	20.0%	20
		総計	5.5%	24.7%	34.2%	35.6%	30.1%	73
	終了時	履修	5.1%	30.8%	46.2%	17.9%	35.9%	39
		未履修	6.7%	26.7%	46.7%	20.0%	33.3%	15
		総計	5.6%	29.6%	46.3%	18.5%	35.2%	54

ここから「 」単位未取得者層は「 」単位取得者層と比べて2極化傾向がみられるのではないかと推定できる。

2 就職準備に対する認識

本節では、履歴書作成から始まって個別面接にいたるまでの就職活動に必要なスキルについて、どの程度の自信を得たかを、「キャリア開発 」および「キャリア開発 」の講義の各段階において調査した結果を見てみよう (表2 参照)。

2.1 「3 履歴書作成」について

「1 かなり自信がある」と「2 少しは自信がある」を合計した者の全体に占める比率は、4回の調査を通じ 11.3% 23.0% 15.1% 25.9%と変化した。

「 」受講者は「キャリア開発 」単位既取得者と未取得者に区別できる。この区別をもとに「 」講義前後の2回のアンケートの結果を比較すると、「自信がある」者の比率は、「 」単位既取得者が 18.9% 28.2%、単位未取得者は 5.0% 20.0%であり、単位既取得者の方が講義前後ともに高い比率を示している。

2.2 「4 エントリーシート作成」について

「自信がある (1+2)」の全体に占める比率の4回の調査での推移は、11.3% 19.7% 13.7% 27.8%となっている。

「 」講義の前と後で「 」単位取得の有無別に「自信がある」者の比率を見てみると、「 」単位既取得者は 17.0% 28.2%、単位未取得者のほうは 5.0% 26.7%である。

2.3 「5 筆記試験 (SPI)」について

全体に占める「自信がある」者の比率の推移は、12.9% 19.7% 24.7% 29.6%と連続して増加している。ただし、「 」単位取得の有無別にみても、「 」単位既取得者が 26.4% 28.2%、単位未取得者は 20.0% 33.3%である。この項目については、「キャリア開発 」受講の効果は反映されていない。この結果に大きな効果を与えたのは、「キャリア開発 」と同時期の3年生前期に開講されている「現代教養」の授業であろうと推察される。

2.4 「6 グループ・ディスカッション」について

4回の調査で「自信がある」者の全体に占める比率は、16.1% 37.7% 26.0% 42.6%のように推移した。「キャリア開発 」単位既取得者は、「 」の講義前 30.2%が「自信がある」。これが講義後には 46.2%と半数近くにまで増加。これに対して「 」単位未取得者は 15.0% 33.3%に留まった。

2.5 「7 集団面接」について

「自信がある」者の全体に占める比率の推移は、14.5% 26.2% 27.4% 22.2%であった。「」単位既取得者の「自信がある」者の比率は、「」講義前 30.2% 講義後 23.1%、また「」単位未取得者は 20.0% 20.0%と変わらない。この項目については、「」の講義を受けることによってこの難しさが分り、「自信度」としては数値が下がったと考えるのではないか。

2.6 「8 個別面接」について

最後に「8 個別面接」について「自信がある」者の全体に占める比率は、4回の調査で順に 19.4% 36.1% 30.1% 35.2%となった。「」単位既取得者についてみると「」講義前 34.0% 講義後 35.9%、単位未取得者は 20.0% 33.3%と増加した。また「」単位既取得者の「自信がある」者の比率は、「」講義前後ともに未取得者より高い。

2.7 「自信がある」項目の順位

「キャリア開発」講義終了時点で「3 履歴書」から「8 個別面接」までの6項目のうち、「自信がある」者の比率が高い順に並べてみると、全体では、

「6 グループ・ディスカッション」42.6%

「8 個別面接」35.2%

「5 筆記試験」29.6%

「4 エントリーシート」27.8%

「3 履歴書」25.9%

「7 集団面接」22.2%の順である。

また、「」単位取得者のみでの順位をみると、

「6 グループ・ディスカッション」46.2%

「8 個別面接」35.9%

「3 履歴書」28.2%

「4 エントリーシート」28.2%

「5 筆記試験」28.2%

「7 集団面接」23.1%

の順であった。

3 キャリア教育の効果測定

本節では、キャリア教育の効果測定を試みとして、4回のアンケート調査の結果に以下のような処理を行う。各設問について「1 かなり自信がある」へは2ポイント、「2 少しは自信がある」には1ポイント、「3 少し自信がない」へはマイナス1ポイント、「ほとんど自信がない」に

はマイナス2ポイントを与え、その平均値を求める。そして、講義前の平均ポイントから講義後の平均ポイントに上昇した大きさを教育効果とする。この結果を総括したのが表3である。

3.1 「1 職種 (適性)」について

「キャリア開発」講義前の平均ポイントは -0.194 講義後 0.393 と、講義前は「あまり考えていない」が講義後は「ある程度考えている」に近づいたことが分る。また、教育効果を数値化すると、「」講義後は講義前の平均ポイントから 0.587 の増加を示している。

また「キャリア開発」講義前平均ポイントは全体で 0.411 講義後 0.648 で、教育効果は 0.237 である。「」単位取得状況別では、単位既取得者は 0.604 0.929 と「ある程度考えてい

表3 教育効果測定総括表

		講義前	終了時	効果	
1 職種 (適性)	キャリア開発	- 0.194	0.393	0.587	
	キャリア開発	履修	0.604	0.923	0.319
		未履修	- 0.100	- 0.067	0.033
		全 体	0.411	0.648	0.237
2 業界・業種	キャリア開発	- 0.113	0.410	0.523	
	キャリア開発	履修	0.321	0.718	0.397
		未履修	- 0.050	- 0.133	- 0.083
		全 体	0.219	0.481	0.262
3 履歴書	キャリア開発	- 1.210	- 0.705	0.505	
	キャリア開発	履修	- 0.868	- 0.564	0.304
		未履修	- 1.300	- 0.933	0.367
		全 体	- 0.986	- 0.667	0.320
4 エントリーシート	キャリア開発	- 1.210	- 0.770	0.439	
	キャリア開発	履修	- 0.943	- 0.538	0.405
		未履修	- 1.650	- 0.867	0.783
		全 体	- 1.137	- 0.630	0.507
5 筆記試験	キャリア開発	- 1.242	- 0.820	0.422	
	キャリア開発	履修	- 0.736	- 0.769	- 0.033
		未履修	- 1.050	- 0.600	0.450
		全 体	- 0.822	- 0.722	0.100
6 グループ・ディス カッション	キャリア開発	- 0.952	- 0.689	0.263	
	キャリア開発	履修	- 0.585	- 0.179	0.405
		未履修	- 1.150	- 0.533	0.617
		全 体	- 0.740	- 0.278	0.462
7 集団面接	キャリア開発	- 0.952	- 0.689	0.263	
	キャリア開発	履修	- 0.623	- 0.692	- 0.070
		未履修	- 1.100	- 0.933	0.167
		全 体	- 0.753	- 0.759	- 0.006
8 個別面接	キャリア開発	- 0.806	- 0.492	0.315	
	キャリア開発	履修	- 0.585	- 0.410	0.175
		未履修	- 1.000	- 0.467	0.533
		全 体	- 0.699	- 0.426	0.273

る」に近い。教育効果は 0.319。対して未取得者は - 0.100 - 0.067 と「考えていない」段階に留まっており、教育効果も 0.033 と相対的に低かった。

3.2 「2 業界・業種」について

この項目についても、「1 職種 (適性)」についてとほぼ同様のことがいえる。すなわち、「キャリア開発」では講義前平均ポイント - 0.113 講義後 0.393 であり、教育効果は 0.523。

また全体の「キャリア開発」講義前平均ポイント 0.219 講義後 0.481, 教育効果は 0.262 を示した。「 」との相関をみると、「 」単位取得者が平均ポイント 0.321 0.718, 教育効果 0.397 に対して、未取得者は - 0.050 0.133 で教育効果 - 0.083 であった。

3.3 「3 履歴書作成」について

「キャリア開発」は講義前平均ポイントが - 1.210 講義後 - 0.705 であり、教育効果は 0.505 と上がっているが、絶対水準としてはマイナス。すなわち「自信がない」レベルに留まっている。

「キャリア開発」の全体の平均ポイントは、講義前 - 0.986 講義後 - 0.667 と教育効果は 0.320 であり、- 0.667 は「 」終了後の平均ポイント - 0.705 を上回っているとはいえ、依然絶対水準としてはマイナスつまり「自信がない」レベルに留まっているといえよう。

「 」単位取得状況別にみると、単位取得者は「 」講義前の平均ポイント - 0.868 講義後 - 0.564, 教育効果は 0.304 を示した。他方、単位未取得者は - 1.300 - 0.933, 教育効果は 0.367 であった。単位未取得者は、教育効果こそ単位取得者より高かったが、その水準は「 」講義終了後も「少し自信がない」レベルに留まっている。

3.4 「4 エントリーシート作成」について

全体についてみると「キャリア開発」の講義前平均ポイント - 1.210 講義後 - 0.770, 教育効果 0.439。「キャリア開発」の講義前平均ポイント - 1.137 講義後 - 0.630, 教育効果 0.507。「 」 「 」ともに 6 項目中最も教育効果の高い項目である。

「 」単位取得者についても「 」講義前の平均ポイント - 0.943 講義後 - 0.538, 教育効果 0.405 と極めて高いことが分る。

3.5 「5 筆記試験」について

「キャリア開発」では 0.422 と高い教育効果の数値を示したが、「キャリア開発」では全体での教育効果は 0.100 であり、「 」単位取得者の「 」での教育効果は - 0.033 である。この結果は、「5 筆記試験」のスキル習得はキャリア開発での講義内容とは相関を持たないと解釈しうる。実際、筆記試験対策は「 」 「 」ともに授業開始後に数分程度の問題を解くことに限られていた。

自信度は、「 」終了後でも平均ポイント - 0.722 と「7 集団面接」となると 6 項目中最も低

いグループに属する。

3.6 「6 グループ・ディスカッション」について

「キャリア開発」では講義後平均ポイント - 0.689, 教育効果 0.263 と奮わなかったが, 「キャリア開発」では講義後平均ポイント - 0.278, 教育効果 0.462 と好結果を残している。これは「」の授業ではこの内容を積極的に実施したことも起因しているであろう。

「」単位取得者についてみると「」講義後の平均ポイント - 0.179, 教育効果 0.405 であり, このスキルについては相当自信をつけた事がうかがえる。

3.7 「7 集団面接」について

「キャリア開発」では講義後平均ポイント - 0.689, 教育効果 0.263 と「6 グループ・ディスカッション」と並ぶ実績であったが, 「キャリア開発」では大きな違いが現れた。すなわち「」講義後の平均ポイントは - 0.759, 教育効果は - 0.006 と僅かではあるがマイナスとなっている。「」単位取得者についてみても「」講義後平均ポイント - 0.410, 教育効果 - 0.070 である。

このスキルについては, 特に「」について, 受講者の学習前のイメージと実際の体験で知った自分の力量とのギャップが, このような結果になって現れたのではないかと推察できる。ちなみに実際に模擬集団面接の練習を実施したのは「」になってからである。

3.8 「8 個別面接」について

「キャリア開発」では講義後平均ポイント - 0.492 と6項目中最も高い水準を示した。また「キャリア開発」でも講義後平均ポイントは全体で - 0.426 と, 「6 グループ・ディスカッション」に次ぐ高い水準である。ただし, 講義前の平均ポイント水準でも「」 - 0.806, 「」 - 0.699 と6項目中最も高く, 受講生の意識としては初めから比較的自信度の高い項目である。「」単位取得者をみても講義前 - 0.585 - 0.410 と同様のことが見て取れる。従って, 教育効果の数値としては, 「」全体 0.273, 「」単位取得者 0.175 と, 「3 履歴書」「4 エントリーシート」「6 グループ・ディスカッション」よりは低いものになっている。

まとめ

「3 履歴書」から「8 個別面接」の6つの項目を「キャリア開発」終了時の平均ポイント水準の高い順から並べてみると,

「6 グループ・ディスカッション」 - 0.278

「8 個別面接」 - 0.426

「4 エントリーシート」 - 0.630

「3 履歴書」 - 0.667

「7 集団面接」 - 0.759

「5 筆記試験」 - 0.722 の順である。

また、教育効果の高い順に並べると、

「4 エントリーシート」 0.507

「6 グループ・ディスカッション」 0.462

「3 履歴書」 0.320

「8 個別面接」 0.273

「5 筆記試験」 0.100

「7 集団面接」 - 0.006 の順である。

これを「キャリア開発」単位既取得者にしぼって上記6項目の平均ポイントの高い順に並べると、

「6 グループ・ディスカッション」 - 0.179

「8 個別面接」 - 0.410

「4 エントリーシート」 - 0.538

「3 履歴書」 - 0.564

「7 集団面接」 - 0.692

「5 筆記試験」 - 0.769.

また教育効果の高い順では、

「4 エントリーシート」 0.405

「6 グループ・ディスカッション」 0.405

「3 履歴書」 0.304

「8 個別面接」 0.175

「5 筆記試験」 - 0.033

「7 集団面接」 - 0.070 である。

このように「」単位取得者についても、平均ポイント、教育効果いずれにおいても順位は基本的に変わらないことがわかった。

以上の順位づけから分ることは、「キャリア開発」の講義を終えた受講生が「自信がある」スキルで平均ポイント水準が相対的に高いものとして「6 グループ・ディスカッション」と「8 個別面接」の2つがあげられ、これらが第1グループをなす。次に平均ポイント水準の高いグループは、「4 エントリーシート」と「3 履歴書」であり、この2つが第2のグループをなす。既に述べたように「5 筆記試験」は「キャリア開発」科目の教育効果という点では内容的にも関連性が小さい。そこで「7 集団面接」がキャリア教育の内容のなかで最も自信を持たせることのできなかったスキルとしてクローズアップされてくる。これは教育効果の数値からも見る事が出来る。

大学におけるキャリア教育の効果測定 (2)

2007 年度 キャリア開発 開講内容

回数	概 要	講義内容
1	講義の開始にあたって	<ul style="list-style-type: none"> ・講義オリエンテーション (講義概要・履修原則・講義に臨む姿勢等の説明) ・先の講義内容について告知 (テキストにかかわる注意)
2	適性検査	<ul style="list-style-type: none"> ・適性検査の実施
3	就職活動の開始にあたって	<ul style="list-style-type: none"> ・講義の全体構成の説明 ・就職活動スケジュール・適性検査・一般常識・面接についての講義
4	キャリアデザインとライフデザイン	<ul style="list-style-type: none"> ・自己分析についての講義 ・実際に自分の将来像をイメージします
5	社会での活躍をイメージする	<ul style="list-style-type: none"> ・業界研究の方法
6	様々なワークスタイルを知る	<ul style="list-style-type: none"> ・社会のニーズを訴求し適性検査の結果を参照しつつ社会を知る
7	自分の「ヤル気」発見	<ul style="list-style-type: none"> ・大学で学んだことがどのように社会で役立つか考える
8	エントリーシート面接にチャレンジ	<ul style="list-style-type: none"> ・エントリーシートの記入ポイント解説
9	自分は思うか	<ul style="list-style-type: none"> ・エントリーシート完成
10	キャリア研究	<ul style="list-style-type: none"> ・経済学部就職動向
11	自分の言葉で分りやすく話す	<ul style="list-style-type: none"> ・マナーを知る
12	プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでキャリアデザインマップを作成
13	就職とキャリア	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ
14	試験	

2008 年度 キャリア開発 開講内容

回数	概要	講義内容
1	オリエンテーション	
2	EQ	EQ 実施：説明後、実施
3	EQ	EQ 解説：生協担当者にて解説
4	マナー・コミュニケーション	「社会人マナー」「コミュニケーション」の実践的学習により、現状の理解度の把握と継続的なトレーニングに繋げる。
5	自己分析	自己分析の基本を理解する。就職活動準備度合いを明確にし、不足項目の把握と今後に向けた行動方法を指導する。
6	自己分析	自己アピール文制作。就職活動に必要な自己資料の作成を行い、エントリーシート・履歴書・面接に繋げる。
7	業界研究 PC 活用体験	職業適性・職業興味をキーワードに志望業界・志望職種を絞っていく。その際、パソコンの利用・検索の方法をマスターする。
8	業界研究 PC 活用体験	職業適性・職業興味をキーワードに志望業界・志望職種を絞っていく。その際、パソコンの利用・検索の方法をマスターする。
9	エントリーシート・履歴書とは	自己分析および業界研究をもとに、自己 PR を中心としてエントリーシートを実際に作成する。
10	エントリーシート・履歴書とは	作成したエントリーシートを基に、グループディスカッションを行う。これにより、準備度合いを把握し、修正を促す。
11	面接試験とは (マナー)	社会人マナーの完成を目指す。面接時のマナーの理解・体験を通し、不足項目の把握・修正行動を促す。
12	面接試験とは (コミュニケーション・質疑応答)	コミュニケーションの完成を目指す。面接のケーススタディーを理解・体験を通し、不足項目の把握・修正行動を促す。
13	模擬面接 (グループディスカッション)	採用試験に近い内容での、ディスカッションを行う。不足項目の把握・修正行動を促す。
14	模擬面接 (個人面接)	個人面接を実施する事で、準備度合いの最終確認を行う。不足・修正事項の指導を行い、行動を促す。
15	まとめ	